

研修報告

目的

政策提言のできる議会に

議会運営委員会

(10月29日～31日)

1日目

●研修地

福島県会津若松市

人口 約12万1千人

面積 約383km²

●研修内容

平成19年に議会制度検討委員会を設置し議員、市民及び学識経験者との意見交換を経て翌20年6月に議会基本条例と議員政治倫理条例を制定している。政策立案、提言形成のサイクルは、まず市民との意見交換会を行い意見を聴取する。それを広報広聴委員会で意見整理、問題発見、課題を設定する。

2日目

●研修地

山形県川西町

人口 約1万5千人

面積 約166km²

●研修内容

更に政策討論会で政策研究を行い具体的な政策を立案、決定していく。また政策執行による成果の評価も実施している。

★注目すべきは、政策討論会での学識経験者による論点整理や市民との意見交換会による意見整理を行い、議員間討議を徹底的に行うことだ。

平成14年から議会活性化に取組25年3月には議会基本条例を制定し、町民参加の拡大と政策提言の二本柱を掲げている。町民との意見交換会では議員がテーマを決め準備、運営、意見のまとめを行っている。

政策提言の流れは町民の意見を広報広聴常任委員会で分析、討論し全員協議会で提案決定する。この政策提言について



理事者から回答をもらい、前年度提言に対する検証、評価を実施する。評価の視点を1項目、評価の基準を5項目設け議員個々で5段階の評価を行う。

また議会だよりは全国町村議会広報コンクールで最優秀賞を獲得するなど常に上位を占め、議会広報モニター、広報アドバイザーを委嘱し編集に活かしている。

◎今後に活かしたい事
★研修先の両議会とも議会改革の先進事例で大きな成果を上げている。
★特に住民との意見交換会を重視し、意見聴取、整理、問題発見、議員間討論などそのプロセスを広報で住民に周知し、議会の情報公開につなげている。
★更に集約して政策提言や条例にも発展させ、検証、評価も行っている。
★私たちの議会も議会報告から意見交換ヘシフトし上記の過程へとつなげたい。

第59回四国地区町村議会議長会研修会に参加して

10月18日、第59回四国地区市町村議会議長会研修会が高知県立県民文化ホールで、四国町村議会議員525名が参加し開催された。四国地区の川村高知県会長の挨拶の後、自治功労者の表彰に入り、町村議会議員として在職し地方自治の振興に寄与された43名の方々に
前半の講演は、ジャーナリスト・ノンフィクション作家の門田隆将氏から『既存のメディア総崩れで日本のジャーナリズムはどこへ行く?』
に対し四国地区町村議会議長会表彰があり、松前町議会からは、伊賀上明治議員と三好勝利議員が表彰されました。

伊賀上明治議員



門田隆将氏



三好勝利議員



加藤清隆氏



後半は、政治評論家の加藤清隆氏から『政権の課題展望〜日本の周辺で何が起きているか?』の2題を聴講した。